

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅠ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第1学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書： CROWN English Communication I（三省堂）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの的確な理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、主体性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 語彙、表現、文構造、言語の働き、音の変化などについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解する。 | 語順やパラグラフの論理展開を意識しながら、文章を正しく読み取り、正しい語順や語彙で自分の気持ちや考えを等を伝え合うことができる | 授業や課題に主体的に取り組み英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|----|---|------------------|------------------|---|------|---|---|---|----------|
| | | 聞 | 読 | 話 （ や ） | 話 （ 発 ） | 書 | | | | | |
| Lesson 1 The Blue White Shirt 和製英語について、理解して考えを深めることができる。 和製英語などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 Lesson 2 Does It Spark Joy? 片づけの専門家・近藤麻理恵さんの生き方や片づけに関する考え方について、理解して考えを深めることができる。 片づけに関する自身の経験や考え、自分自身とさめくものなどについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 5文型、to不定詞、動名詞、現在完了形・現在完了進行形、助動詞 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリング・マッピング 4) 単元ごとに、関連テーマについて、簡単な英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習（週1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 7 |
| 到達度テスト | | | | | | | | ○ | ○ | | |
| Lesson 3 Hatching the Egg of Hope アーティスト・ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について、理解して考えを深めることができる。 ミヤザキケンスケさんの活動や考え、アートの楽しみ方などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 関係代名詞、分詞、受動態 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習（週1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 10 |
| Lesson 4 Digging into Mystery 縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、理解して考えを深めることができる。 縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 関係代名詞(what)、過去完了、SVO(O=疑問使節/if節) 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習（週1回） 6) 単語小テスト（週1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 12 |
| Lesson 5 Roots & Shoots 人間と動物の共生や環境保護に関するジェーン・グドール博士の考えについて、理解して考えを深めることができる。 人間と動物の共生や環境保護などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 分詞構文、It～that節、同格表現 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習（週1回） 6) 単語小テスト（週1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 6 |
| 第1回定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

1
学
期

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--------------------------------|---|----|-----|----|
| 2 学 期 | Lesson 6 You and Your Smartphone – Who's in Charge? スマートフォンの使用に関するよい点と問題点について、理解して考えを深めることができる。 スマートフォンの使用に関するよい点と問題点などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 関係副詞、SVOC(C=原形不定詞/分詞) 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習(週1回) 6) 単語小テスト(週1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 | |
| | Lesson 7 Living in Alaska 写真家・星野道夫さんの自然に対する考え方、アラスカの自然や人々の暮らしについて、理解して考えを深めることができる。 自然や身の回りの環境問題などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) SVCをとる応用表現 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習(週1回) 6) 単語小テスト(週1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| | 第2回定期考査 | | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | Lesson 8 Not So Long 戦争の悲惨さや平和の重要性、写真の持つ力について、理解して考えを深めることができる。 本文中で紹介されている写真や戦争のない世界の実現などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 仮定法過去、SVOO(=that節/疑問使節)、付帯状況with 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習(週1回) 6) 単語小テスト(週1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| | Lesson 9 Our Lost Friend 旧宗主国と旧植民地の間に存在する文化財返還問題について、理解して考えを深めることができる。 大英博物館とイースター島民のそれぞれの主張などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 受動態の完了形、助動詞を含む受動態、関係代名詞の非制限用法 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習(週1回) 6) 単語小テスト(週1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 12 | |
| | Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown 『ピーナッツ』の世界的人気の理由や作者のチャールズ・M・シュルツさんが考える「人生の成功」について、理解して考えを深めることができる。 自身に影響を与えた漫画などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 | 1) 仮定法過去完了、助動詞応用表現、形式目的語it 2) main idea の把握 3) key words の確認と内容のリテリングやマッピング 4) 関連テーマについて、英語で自分の意見を伝え合う。 5) リスニング演習(週1回) 6) 単語小テスト(週1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 10 | |
| | 第3回定期考査 | | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | 応用読解① | より長い内容の深い文章の読解。英文を正しく理解し、理解した内容や自分の考えを表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文法事項や論理展開を意識して、文章を正しく読み取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 応用読解② | より長い内容の深い文章の読解。英文を正しく理解し、理解した内容や自分の考えを表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文法事項や論理展開を意識して、文章を正しく読み取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 応用読解③ | より長い内容の深い文章の読解。英文を正しく理解し、理解した内容や自分の考えを表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文法事項や論理展開を意識して、文章を正しく読み取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 第4回定期考査 | | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 | | |
| | | | | | | | | | | | | 合計 | 105 | |

教科担当者：

使用教科書：（FACTBOOK English Logic and Expression I（桐原書店））

教科 外国語 の目標：

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの的確な理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---------------------|--|-----------------|
| 様々な表現や文法事項や表現を理解する。 | 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に表現し、論理的なまとまりのある文章を書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けている。 | 授業や課題に主体的に取り組む。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|------------------|------------------|---|--|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 〔 や 〕 | 話 〔 発 〕 | 書 | | | | | |
| 1 学期 ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて30秒程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、50語程度の論理的な文章を書く。 定期考査 | ・FACTOBOOK English Logic and Expression I Unit 0～Thinknig Logically 2 ・Grand EARTH Grammar in 48 Stages Lesson 1 文の種類～14 動詞の態 ・Steady Steps to Writing Lesson 1 時制～8 態(1周目)* 英作文演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 35 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 1 | | |
| 2 学期 ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて30秒程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、50語程度の論理的な文章を書く。 定期考査 | ・FACTOBOOK English Logic and Expression I Unit 5～Thinknig Logically 3 ・Grand EARTH Grammar in 48 Stages Lesson 15 不定詞～23 分詞 ・Steady Steps to Writing Lesson 9 不定詞・動名詞～13 関係詞(1周目)* 英作文演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 1 | | |
| 3 学期 ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて30秒程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、50語程度の論理的な文章を書く。 定期考査 | ・FACTOBOOK English Logic and Expression I Unit 7～Thinknig Logically 4 ・Grand EARTH Grammar in 48 Stages Lesson 24 関係詞～30 比較 ・Steady Steps to Writing Lesson 14 比較～15 否定(1周目): 1 時制～5 助動詞(2周目) * 英作文演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 1 | | |
| 3 学期 ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて30秒程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、50語程度の論理的な文章を書く。 定期考査 | ・FACTOBOOK English Logic and Expression I Unit 9～Thinknig Logically 5 ・Grand EARTH Grammar in 48 Stages Lesson 31 仮定法～40 接続詞 ・Simple Skills for English Writing Lesson 6 条件・仮定～15 否定(2周目) * 英作文演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 1 | | |
| | | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | | 105 |

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第2学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書： ELEMENT English Communication Ⅱ（啓林館）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの的確な理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、主体性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 語彙、表現、文構造、言語の働き、音の変化などについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解する。 | 語順やパラグラフの論理展開を意識しながら、文章を正しく読み取り、正しい語順や語彙で自分の気持ちや考えを等を伝え合うことができる | 授業や課題に主体的に取り組み英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|---|--|----|---|------------------|------------------|---|---|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 (や) | 話 (発) | 書 | | | | | |
| 1 学 期 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文やスピーチを読んで、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができるようになる。 第1回定期考査 | 1) ELEMENT Ⅱ Lesson 1～ Lesson 4 2) New Treasure English Series STAGE 4 3) 英単語ターゲット1900 確認テスト 4) Focus on Listening Pre Advanced | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 35 |
| | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| 2 学 期 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文やスピーチを読んで、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができるようになる。 第2回定期考査 | 1) ELEMENT Ⅱ Lesson 5～ Lesson 6 2) New Treasure English Series STAGE 4 3) 英単語ターゲット1900 確認テスト 4) Focus on Listening Pre Advanced | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 19 |
| | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文やスピーチを読んで、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができるようになる。 第3回定期考査 | 1) ELEMENT Ⅱ Lesson 7～ Lesson 8 2) New Treasure English Series STAGE 4 3) 英単語ターゲット1900 確認テスト 4) Focus on Listening Pre Advanced | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | [L] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取って解答することができる。 [R] 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 [S] 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。 [W] 本課で扱う文法の用法や意味を理解し、書く活動において正確に用いることができる。 | ○ | ○ | ○ | 21 |
| | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 応用読解 第4回定期考査 | より長い内容の深い文章の読解。 英文を正しく理解し、理解した内容や自分の考えを表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文法事項や論理展開を意識して、文章を正しく読み取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

合
計
105

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科

外国語

科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～

8 組

教科担当者：

使用教科書：（ CROWN English Logic and Expression II Advanced （三省堂） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの的確な理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|----------------------------|---|-----------------|
| 1年よりも発展的な表現を学び、文法事項を定着させる。 | 1年よりも発展的な表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に表現し、論理的なまとまりのある文章を書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けている。 | 授業や課題に主体的に取り組む。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|---|---|------------------|---|------|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 〔 や 〕 | 書 | | | | | |
| 1 学 期 | ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラス メートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて1分程度 で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、70 語程度の論理的な文章を書く。 | 1) アップリフト英文法 文法項目別演習（Z会） 問題演習 Lesson 1～7 2) ステップアップ英作文（日栄社） 演習と添削指導 Lesson 3～9 *ALT 3) 新・英語の構文150（美誠社）Lesson 1～36 4) Vintage（いいずな書店）毎週確認テスト 5) 英熟語ターゲット（旺文社）毎週確認テスト 6) CROWN English Logic and Expression II Advanced（三省堂） L.1 - 3 ※活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 23 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 | ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラス メートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて1分程度 で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、70 語程度の論理的な文章を書く。 | 1) アップリフト英文法 文法項目別演習（Z会） 問題演習 Lesson 8～11 2) ステップアップ英作文（日栄社） 演習と添削指導 Lesson 10～13 *ALT 3) 新・英語の構文150（美誠社）Lesson 37～60 4) Vintage（いいずな書店）毎週確認テスト 5) 英熟語ターゲット（旺文社）毎週確認テスト 6) CROWN English Logic and Expression II Advanced（三省堂） L.4 - 5 ※活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 | ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラス メートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて1分程度 で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、70 語程度の論理的な文章を書く。 | 1) アップリフト英文法 文法項目別演習（Z会） 問題演習 巻末ランダム 2) アップリフト英文法 ランダム演習（Z会） 問題演習 ランダム1～7 3) 入試必携英作文 Write to the Point（教研） 演習と添削指導 Lesson 1～9 *ALT 4) 新・英語の構文150（美誠社）Lesson 93～104 5) Vintage（いいずな書店）毎週確認テスト 6) 英熟語ターゲット（旺文社）毎週確認テスト 7) CROWN English Logic and Expression II Advanced（三省堂） L.9 - 10 ※活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 合計 | | | | | | | | | | 70 |

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅢ

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 8組

教科担当者：

使用教科書：（英語コミュニケーションⅢ New Rays (いづな書店))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能等】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる発展的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる発展的な力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする発展的な態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 2年生よりも発展的な語彙、表現、文構造、言語の働き、音の変化などについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解する。 | 2年生よりも発展的な語順やパラグラフの論理展開を意識しながら、文章を正しく読み取り、正しい語順や語彙で自分の気持ちや考えを等などを伝え合うことができる | 授業や課題に主体的に取り組み英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|---|------------------|------------------|---|------|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 （ や ） | 話 （ 発 ） | 書 | | | | | |
| 1 学 期 | ●よりよい人生を送るには他者との良い関係が重要であるという研究結果を踏まえて、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。 ●これまでの失敗をどう乗り越えたかを述べさせる。 ●腸のすごさについて、パラグラフを書いて発表させる。 | ●第1回定期考査まで ①The Kuniko Heritage 2025 L2. Unravelling Unconscious Bias L3. Growing Up ②The Levels 4 (旺文社) L1～L5 ③DUO 3.0 (ICP) Section 29～45 ④2度聴き精聴トレーニング 実践編L1～7 ⑥英語コミュニケーションⅢ New Rays L2～4 | | | | | | | | | 36 |
| | 定期考査① | | | | | | | | | | |
| | ●科学者について伝記を書いて発表させる。 ●本文に出てきた実験を説明するパラグラフを書かせる。 ●肉の消費によって環境にどのような影響を与えるかという研究結果から、食と環境の関係について考えさせる。 | ●第2回定期考査まで ①The Kuniko Heritage 2025 L4. The Story of Art L5. The Obligation to Endure ②The Levels 4 (旺文社) L6～L10 ③DUO 3.0 (ICP) ④2度聴き精聴トレーニング 実践編L8～14 ⑥英語コミュニケーションⅢ New Rays L6～8 | | | | | | | | | |
| 2 学 期 | ●絶滅危惧種について議論させ、グループの意見をまとめさせる。 ●偏見に関する説明を聞かせて、偏見を避けるために気をつけることを話し合わせる。 ●森林再生の取り組みを知ることで、環境保全に寄与する態度を養う。 | ●第3回定期考査まで ①The Kuniko Heritage 2025 L6. The Lessons of Easter Island L7. Brief Answers to the Big Questions ②The Levels 4 (旺文社) L11～L15 ③DUO 3.0 (ICP) ④2度聴き精聴トレーニング 実践編L8～14 ⑥英語コミュニケーションⅢ New Rays L9～11 | | | | | | | | | 42 |
| | 定期考査② | | | | | | | | | | |
| | 定期考査③ | | | | | | | | | | |
| 3 学 期 | ●本を所持することを禁止された世界を想像しながら物語を読むことで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う。 | ⑥英語コミュニケーションⅢ New Rays L12 | | | | | | | | | 27 |
| | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | 105 |

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科

外国語

科目 論理・表現Ⅲ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 8組

教科担当者：

使用教科書：（Be English Logic and Expression Ⅲ(いいずな書店)）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの的確な理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる発展的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に主体的、自律的に表現したり伝え合ったりすることができる発展的な力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする発展的な態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|----------------------------|---|-----------------|
| 2年よりも発展的な表現を学び、文法事項を定着させる。 | 2年よりも発展的な表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に表現し、論理的なまとまりのある文章を書いたり、話したり、発表したりする発展的な技能を身に付けている。 | 授業や課題に主体的に取り組む。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|------------------|------------------|---|--|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 (や) | 話 (発) | 書 | | | | | |
| ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて1分程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、単元の内容について50～1000語程度の論理的な文章を書く。 | ●第1回定期考査まで ①和文英訳徹底演習205 Part 3 Chapter 4 ～ Part 4 Chapter 7 ②英文法・語法 Vintage 4th Edition 毎回小テスト ③ドラゴン・イングリッシュ基本英文100 改訂新版(暗誦用) ④Be English Logic and Expression Ⅲ(いいずな書店) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 24 |
| 定期考査 | ●第2回定期考査まで ①Write to the Point Lesson 1 ～ 9 ②英文法・語法 Vintage 4th Edition 毎回小テスト ③ドラゴン・イングリッシュ基本英文100 改訂新版(暗誦用) ④Be English Logic and Expression Ⅲ(いいずな書店) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 28 |
| 定期考査 | ●第3回定期考査まで ①Write to the Point Lesson 10 ～ 18 ②英文法・語法 Vintage 4th Edition 毎回小テスト ③ドラゴン・イングリッシュ基本英文100 改訂新版(暗誦用) ④Be English Logic and Expression Ⅲ(いいずな書店) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 定期考査 | ●単元のテーマや文法項目を使い、 ・単元のテーマやトピックについてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・単元のテーマやトピックについて1分程度で発表する。 ・適切なディスコースマーカーを使い、単元の内容について50～1000語程度の論理的な文章を書く。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 定期考査 | ①Be English Logic and Expression Ⅲ(いいずな書店) ②共通テスト対策 演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 知識・技能 単元中の表現や文法事項や表現を理解しているか 2 思考・判断・表現 単元中の表現や文法事項や表現を使い、英語で適切に書いたり、話したり、発表したりする技能を身に付けているか 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に授業や課題に取り組んでいるか | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | | 70 |